

# **WM31 User Guide**

**第 1 版**

**2012 年 9 月**

# 目次

はじめに .....	1
ご利用いただくにあたって .....	1
免責事項について .....	2
梱包品の確認 .....	2
動作環境 .....	3
安全上のご注意 .....	4
医用電気機器近くでの取り扱いについて .....	8
取り扱い上のご注意 .....	9
共通のお願い .....	9
本製品についてのお願い .....	9
SIMカードについてのお願い .....	10
その他 .....	10
注意 .....	10
1. 各部の名称と機能 .....	11
1.1 LEDステータスランプ表示の見方 .....	11
2. SIMカードの準備 .....	12
2.1 取り付けかた .....	12
2.2 取り外しかた .....	12
3. microSDカードの準備 .....	13
3.1 取り付けかた .....	13
3.2 取り外しかた .....	13
4. 本製品とパソコンの接続方法 .....	14
4.1 パソコンに取り付ける .....	14
4.2 パソコンから取り外す .....	14
4.2.1 パソコンから取り外す (Windows) .....	14
4.2.2 パソコンから取り外す (Macintosh) .....	15
5. セットアップ .....	16
5.1 インストール・アンインストール(Windows) .....	16
5.1.1 WM31 Data Connection Managerをインストールする .....	17
5.1.2 WM31 Data Connection Managerをアンインストールする .....	21
5.2 インストール・アンインストール(Macintosh) .....	23
5.2.1 WM31 Data Connection Managerをインストールする .....	24
5.2.2 WM31 Data Connection Managerをアンインストールする .....	28
6. データ通信用ユーティリティソフト .....	29
6.1 データ通信用ユーティリティソフト操作方法(Windows) .....	29
6.1.1 WM31 Data Connection Managerの画面構成 .....	29
6.1.2 WM31 Data Connection Managerの起動 .....	30
6.1.3 WM31 Data Connection Managerの終了 .....	30

---

6.1.4 接続設定 .....	31
6.1.5 接続・切断 .....	33
6.1.6 PIN管理 .....	34
6.2 データ通信用ユーティリティソフト操作方法(Macintosh) .....	36
6.2.1 WM31 Data Connection Managerの画面構成.....	36
6.2.2 WM31 Data Connection Managerの起動 .....	38
6.2.3 WM31 Data Connection Managerの終了 .....	38
6.2.4 接続設定 .....	39
6.2.5 接続・切断 .....	40
6.2.6 PIN管理 .....	42
7. 手動接続 (Windows).....	44
7.1 プロファイルの設定 .....	44
7.2 ダイアルアップネットワークの手動設定.....	45
7.3 ダイアルアップネットワークの接続.....	54
7.4 ダイアルアップネットワークの切断.....	55
8. 困ったときに.....	56
8.1 本製品が動作しない場合の確認事項.....	56
9. 付録.....	57
9.1 主な仕様.....	57
9.2 輸出管理規制 .....	57
9.3 知的財産権 .....	57

---

# はじめに

このたびは、データ通信専用機種 WM31(以下、本製品)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご利用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

## ご利用いただくにあたって

- ・ 本製品は無線を利用しているため、トンネル、地下、建物の中など電波の届かない所や、屋外でも電波の弱い所、サービスエリア外ではご利用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご利用にならない場合があります。
- ・ 電波状態が一定以上悪くなった場合には、突然通信が途切れることがあります。電波状態が良いところでも通信が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、周りの方の迷惑にならないようご使用ください。
- ・ 海外でご利用いただく場合は、事前にご契約先のお問い合わせ窓口へ確認してください。
- ・ 本製品は高い秘匿性を有しておりますが、電波を使用している以上、第三者に通信を傍受される可能性がないとはいえません。この点をご理解いただいたうえでご使用ください。
- ・ 本製品は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・ SIM カードを取り付けていない状態では使用できません。

## 免責事項について

- ・ 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害(情報内容の変化・消失。事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 当社指定以外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、ダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・ お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保障いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。

## 梱包品の確認

お買い上げいただいたパッケージには、次のものが入っています。お使いになる前に確認してください。万一、不足していた場合には、お買い上げの販売窓口にお問い合わせください。

- ・ WM31(本体)
- ・ Quick Start Guide
- ・ 保証書

## 動作環境

対応 OS	Windows 7 <sup>®</sup> 32bit/64bit	日本語版(Service Pack 1 以降)
	Windows Vista <sup>®</sup> 32bit/64bit	日本語版(Service Pack 2 以降)
	Windows XP <sup>®</sup> 32bit	日本語版(Service Pack 3 以降)
	Mac OS X 10.6~10.7	日本語版(Intel)
必要なメモリ	Windows 7 <sup>®</sup>	推奨 1GB 以上
	Windows Vista <sup>®</sup>	推奨 1GB 以上
	Windows XP <sup>®</sup>	推奨 512MB 以上
	Mac OS X 10.6~10.7	推奨 512MB 以上
ハードディスク	50MB 以上	
インタフェース	USB2.0	




- ・ 上記の環境以外では、動作しない場合があります。また、上記に該当する場合でも、パソコン本体・接続されている周辺機器、使用するアプリケーションなど、お客様がご利用の環境によっては、正常に動作しない場合があります。
- ・ 変換アダプタや USB ハブ(モニターやキーボードなどにある USB ポートを含む)などを經由しての動作は保証いたしかねます。
- ・ OS のアップグレードからの動作は保証いたしかねます。

# 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための内容を記載しています。安全にお使いいただくために必ずお読みください。






次の表示の区分は、表示内容を守らずに誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しております。

## 表示記号の説明






 <b>危険</b>	この表示は「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容」を示しています。
 <b>警告</b>	この表示は「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示は「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」を示しています。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

## 図記号の説明

 禁止	本製品の取り扱いにおける禁止事項(してはいけないこと)を示しています。
 分解禁止	本製品を分解すると感電などの傷害を負うおそれがあるので、分解してはいけないことを示しています。
 水濡れ注意	本製品を水に濡らすなどして使用すると漏電による感電や発火するおそれがあるので、水に濡らしてはいけないことを示しています。
 濡れ手禁止	本製品を濡れた手で扱うと感電するおそれがあるので、濡れた手で触ってはいけないことを示しています。
 指示	本製品の取り扱いに関する指示事項を示しています。

## ⚠ 危険


 禁止	<p>直射日光が当たる場所、炎天下の車内、暖房器具のそばなど、高温になる所での使用や、放置はしないでください。</p> <p>発熱、発火、機器の変形や故障の原因となります。また、本製品が高温になり、やけどの原因になる可能性があります。</p>
 禁止	<p>高精度な電子機器の近くでは使用しないでください。</p> <p>電子機器（心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど）の動作に影響を及ぼすおそれがあります。心臓ペースメーカーやその他医用電気機器をお使いの場合は、電波による影響について各機器メーカー、もしくは販売会社にご相談ください。</p>
 分解禁止	<p>分解、改造をしないでください。</p> <p>火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。</p> <p>本製品の改造は電波法に違反します。</p>
 濡れ手禁止	<p>濡れた手で触らないでください。</p> <p>感電や故障の原因となります。</p>
 水濡れ注意	<p>浴室などで使用したり、水の中につけたりしないでください。</p> <p>発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p> <p>コップのそばなど、液体がこぼれるおそれがある場所では使用しないでください。</p> <p>液体がこぼれて濡れると、発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p>



## ⚠ 警告

 <b>禁止</b>	<p>高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。 機器の故障、火災、本人や他の人のけがの原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>USB コネクタに導通性異物を接触させないでください。また、すき間から異物を入れないでください。 発熱、発火、感電や故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>ガソリンスタンドなど引火、爆発のおそれがある場所では、使用しないでください。 爆発や火災の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器の中に入れたり、電磁調理器 (IH 調理器) の上に置いたりしないでください。 故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>必ず専用の機器をご使用ください。 指定以外の機器を使用すると、発熱、発火、破裂、故障の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>車両の運転中に本製品を使用しないでください。 交通事故の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>航空機内や病院など、使用を禁止されている場所では使用しないでください。 電子機器や医療機器に影響を及ぼすおそれがあり、事故の原因となります。</p>
 <b>禁止</b>	<p>長時間使用しない場合、本製品をパソコンから取り外してください。 感電、火災、故障の原因となります。</p>
 <b>指示</b>	<p>内部に水などが入った場合には、ただちにご使用をお止めください。 そのまま使用し続けると、感電や故障の原因となります。</p>
 <b>指示</b>	<p>屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに屋内などの安全な場所に移動してください。 落雷や感電の原因となります。</p>
 <b>指示</b>	<p>煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態には、すぐに本製品をパソコンから取り外してください。 そのまま使用し続けると、発熱、発火の原因となります。異常に気づいたときは、ただちにご使用をお止めください。</p>





## ⚠ 注意

 禁止	ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。 落下して、けがや故障の原因となります。
 禁止	車両の電子機器に影響が出る場合は使用しないでください。 本製品を自動車内で使用すると、まれに車両の電子製品に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。
 禁止	お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。 異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
 禁止	本製品に磁気カードなどを近づけないでください。 キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
 禁止	本製品、SIM カードに無理な力を加えないでください。 故障、けがの原因となります。
 禁止	SIM カードは指定以外のものを使用しないでください。 指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。
 禁止	メモ리카ードスロットにメモ리카ード以外のものを入れないでください。 発熱・感電・故障の原因となります。
 禁止	メモ리카ードのデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモ리카ードを取り出さないでください。 データ消失・故障の原因となります。
 禁止	メモ리카ードは対応品以外のものを使用しないでください。 データ消失・故障の原因となります。記憶容量が 32G バイトまでのメモ리카ードに対応しています。
 指示	小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。 SIM カードを間違えて飲み込むなど、事故やけがの原因となります。
 指示	子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。 使用中においても指示どおりに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」(電波環境協議会)の内容を参考にしたものです。

### 警告

 指示	<p>医療機関などでは次のことを守って使用してください。</p> <p>手術室、集中治療室(ICU)及び冠状動脈疾患監視病室(CCU)には本製品を持ち込まないでください。病棟内では、パソコンの電源を切ってください。ロビーなど本製品の使用を許可された場所であっても、付近に医用電気機器がある場合は、パソコンの電源を切ってください。医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。</p>
 指示	<p>植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本製品を 22cm 以上離して携行および使用してください。</p> <p>電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>
 指示	<p>満員電車の中など混在した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している可能性がありますので、パソコンの電源を切るようにしてください。</p> <p>電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型細動器の作動に影響を与える場合があります。</p>
 指示	<p>自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。</p> <p>電波により医用電気機器の動作に影響を与える場合があります。</p>

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。  
アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- ・ 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。  
端子が汚れていると接触が悪くなり、電源がされる原因となりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- ・ エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。  
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- ・ 本製品に無理な力がかからないように使用してください。
- ・ 多くのものが詰まった荷物の中に入れていたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、内部基盤などの破損、故障の原因となります。

## 本製品についてのお願い

- ・ 極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所は避けてください。
- ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- ・ 本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ パソコンに USB コネクタを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ 移動するときは、本製品をパソコンから取り外してください。  
故障、破損の原因となります。
- ・ 本製品を使用しないときは、必ず USB キャップをして保管してください。ほこりなどにより本製品の端子が汚れると、パソコンと接続できないことがあります。
- ・ 使用中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- ・ 雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水に濡らさないよう十分ご注意ください。本製品は防水仕様ではありません。

## SIM カードについてのお願い

- ・ SIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- ・ IC 部分(金属面)はいつもきれいな状態でご使用ください。
- ・ お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- ・ IC を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。  
データの消失、故障の原因となります。
- ・ SIM カードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。  
故障の原因となります。
- ・ SIM カードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。  
故障の原因となります。
- ・ SIM カードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けしないでください。  
故障の原因となります。

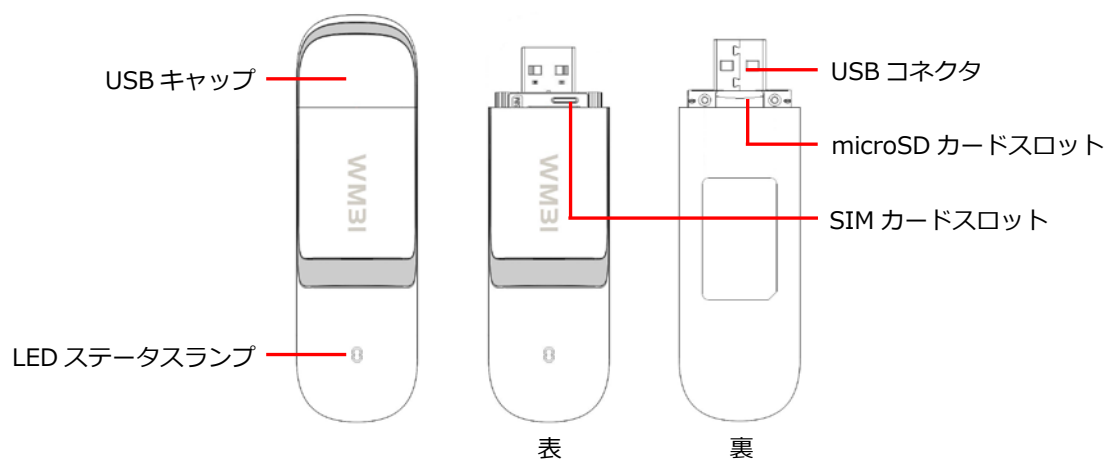
## その他

- ・ パソコンの電池が不足した状態では、動作が不安定になります。電池の残量をよく確認の上、お使いください。
- ・ 本製品はパソコンに接続すると通信をしていなくても電力を消費します。通信しないときは、できるだけ本製品をパソコンより取り外してください。
- ・ パソコンに本製品を接続した状態で、スタンバイまたは休止動作を行うと、お使いのパソコンの機種によっては、まれに正常に動作しない場合があります。そのような場合には必ず本製品を取り外してから、スタンバイまたは休止動作を行ってください。
- ・ パソコンに本製品を接続した状態で、パソコンの電源を ON したり、再起動を行うと、お使いのパソコンの機種によっては、まれに正常に動作しない場合があります。そのような機種をお使いの場合はパソコンが完全に起動してから本製品を接続するようにしてください。

## 注意

- ・ 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。  
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク」が本製品の銘版シールに表示されております。本製品のねじを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

# 1. 各部の名称と機能



名称	機能
① USB キャップ	USB コネクタを保護するためのキャップ
② LED ステータスランプ	本製品の状態などを表示
③ USB コネクタ	パソコンとの接続端子
④ microSD カードスロット	microSD カードを取り付ける箇所
⑤ SIM カードスロット	SIM カードを取り付ける箇所

## 1.1 LED ステータスランプ表示の見方

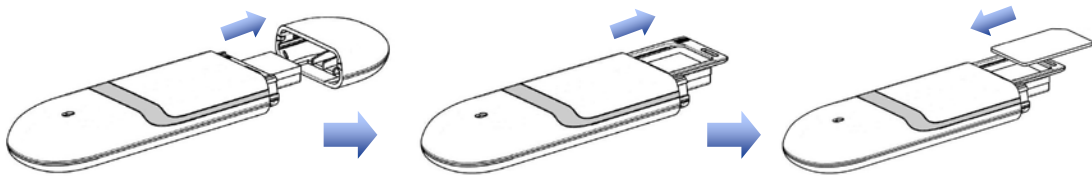
本製品の状態		LED ステータスランプ
電源 OFF		消灯
圏外		赤点滅
SIM カード未挿入		赤点滅
PIN1	PIN1 ロック	赤点滅
	PIN1 入力待ち	赤点滅
待機状態	HSDPA/HSUPA	緑点滅
	W-CDMA	青点滅
接続状態	HSDPA/HSUPA	緑点灯
	W-CDMA	青点灯

## 2. SIM カードの準備

SIM カードは電話番号などのお客様の情報が記録されている IC カードです。本製品を使用するためには SIM カードを本製品に取り付けてください。本製品に取り付けないと、データ通信などを利用することができません。

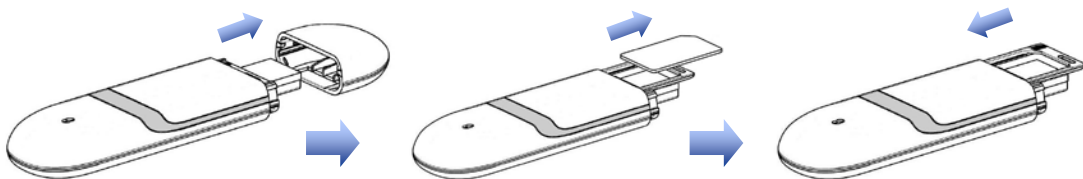
### 2.1 取り付けかた

1. USB キャップを外してください。
2. SIM カードスロットの溝に爪を入れ、矢印の方向へ引いてください。
3. SIM カードの金色の端子部分を下に向けて SIM カードスロットに挿入します。  
切り欠きの向きにご注意ください。
4. SIM カードスロットを元の位置まで差し込みます。



### 2.2 取り外しかた

1. USB キャップを外してください。
2. SIM カードスロットの溝に爪を入れ、矢印の方向へ引いてください。
3. SIM カードを SIM カードスロットから取り外します。
4. SIM カードスロットを元の位置まで差し込みます。



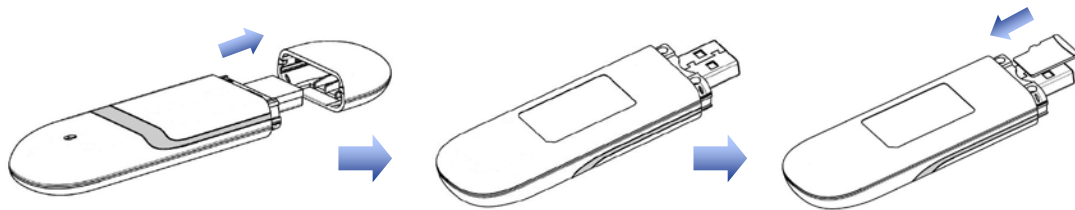
- ・ SIM カードの IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- ・ SIM カードを無理に取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ SIM カードを逆向きに挿入すると故障の原因となります。
- ・ パソコンに本製品が接続された状態で SIM カードを取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。

## 3. microSD カードの準備

本製品では、記憶容量が 32G バイトまでのメモリカードに対応しています。

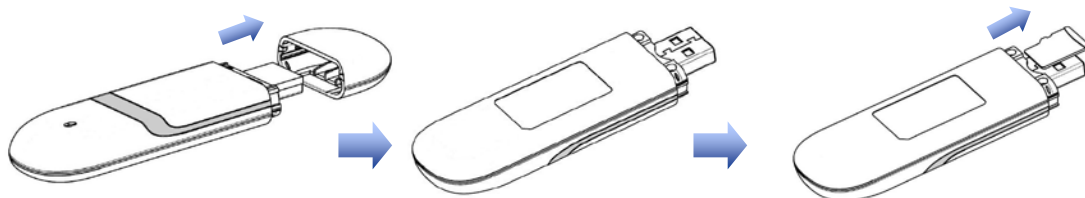
### 3.1 取り付けかた

1. USB キャップを外してください。
2. 本製品を裏向きにしてください。
3. microSD カードの金色の端子部分を下に向けて、microSD カードを挿入します。



### 3.2 取り外しかた

1. USB キャップを外してください。
2. 本製品を裏向きにしてください。
3. microSD カードの端に爪を掛け、矢印の方向へ取り外します。



- ・ microSD カードの IC 部分に触れたり、傷をつけたりしないようご注意ください。
- ・ microSD カードを無理に取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・ microSD カードを逆向きに挿入すると故障の原因となります。
- ・ パソコンに本製品が接続された状態で microSD カードを取り付けたり、取り外さないでください。故障の原因となります。



## 4. 本製品とパソコンの接続方法

本製品を使用する際は、パソコンの USB ポートに取り付けます。

### 4.1 パソコンに取り付ける

1. USB キャップを外してください。
2. パソコンの USB ポートの向きに合わせて、本製品を取り付けます。

### 4.2 パソコンから取り外す

本製品を使用後は、パソコンから取り外してください。

#### 4.2.1 パソコンから取り外す (Windows)

- ・ WM31 Data Connection Manager が起動している場合は、本製品を取り外す前に終了させてください。
- ・ データ通信中は、本製品を取り外さないでください。

1. パソコンのタスクトレイに表示される WM31 Data Connection Manager アイコンを右クリックし、終了をクリックします。



WM31 Data Connection Manager アイコン

2. パソコンのタスクトレイに表示されるハードウェアの取り外しアイコンをクリックします。



ハードウェアの取り外しアイコン (Windows Vista / 7)



ハードウェアの取り外しアイコン (Windows XP)

3. microSD カードが取り付けられている場合は、「リムーバブルディスクの取り出し」をクリックします。
4. 「CD ドライブ WM31 Wireless Modem の取り出し」をクリックします。

※Windows XP、Vista の場合

[USB 大容量記憶装置デバイス]を選択して、「停止」をクリックします。

停止するデバイスを選択して、「OK」をクリックします。

5. 安全に取り外し可能なことが確認できたら、USB ポートから本製品を取り外します。
6. USB キャップを取り付けます。

## 4.2.2 パソコンから取り外す (Macintosh)

- ・ WM31 Data Connection Manager が起動している場合は、本製品を取り外す前に終了させてください。
- ・ データ通信中は、本製品を取り外さないでください。

1. microSD カードが取り付けられている場合は、リムーバブルディスクアイコンをゴミ箱へ移動します。



リムーバブルディスクアイコン

※「NO NAME」は、microSD カードの名称です。microSD カードにより名称は異なります。

2. USB ポートから本製品を取り外します。
3. USB キャップを取り付けます。

## 5. セットアップ

### 5.1 インストール・アンインストール(Windows)

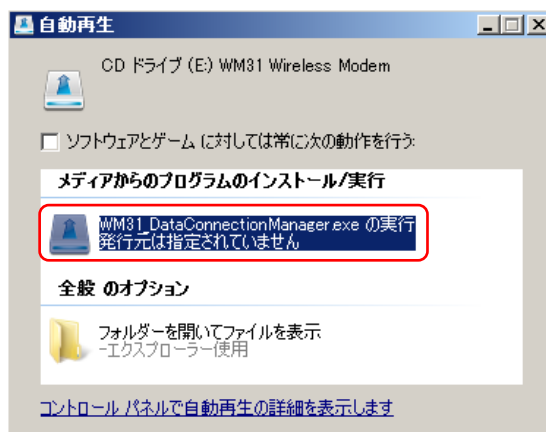
本製品はゼロインストール機能を搭載しているため、初めて本製品をパソコンに接続した際、インストーラが自動的に起動し、WM31 Data Connection Manager のインストールを行います。

- ・ インストールを行う時は、OS を起動してから本製品をパソコンに取り付けてください。
- ・ インストール中はパソコンから本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、またシステムがダウンするなどの異常をおこす場合があります。
- ・ インストール／アンインストールは管理者権限で実施してください。
- ・ ご利用のパソコンによっては、インストールに数分かかる場合があります。
- ・ インストールを開始する前に起動中のアプリケーションは終了してください。
- ・ 既に他のデータ通信端末のソフトウェア(ユーティリティなど)がインストールされている場合は、アンインストールすることを推奨します。
- ・ パソコンがスリープまたは休止状態になるとインストールが正常に完了しませんので、ご注意ください。

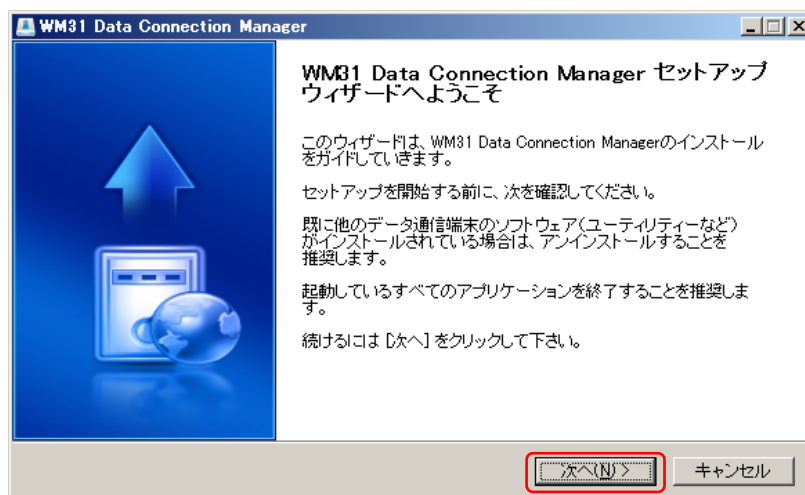
## 5.1.1 WM31 Data Connection Manager をインストールする

1. パソコンの電源を入れ、OS を起動します。
2. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。

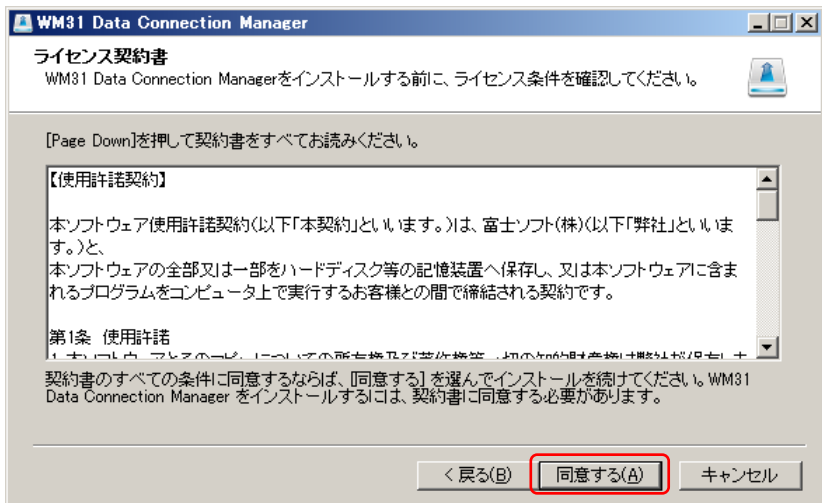
ゼロインストール機能により、本製品を接続するための WM31 Data Connection Manager のセットアップ画面が自動で表示されます。パソコンの設定によっては、「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「WM31\_DataConnectionManager.exe の実行」を選択してください。



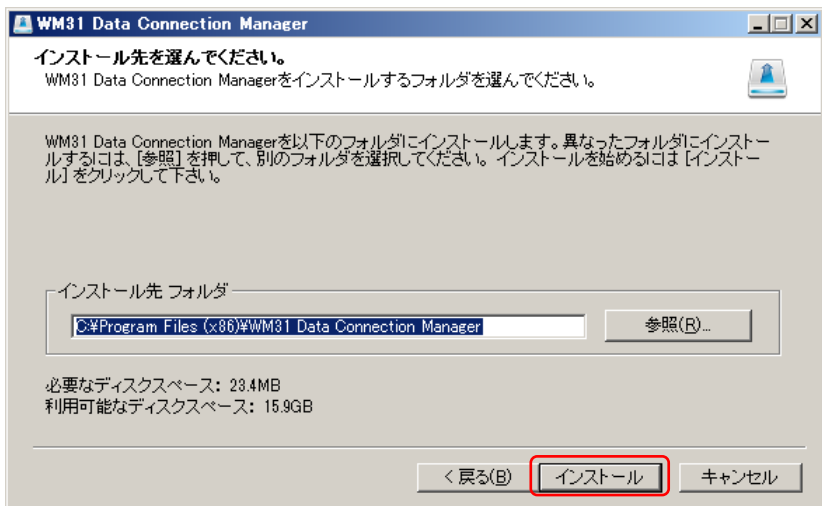
3. 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合、「はい」をクリックします。  
※Windows Vista をお使いの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合、「許可」もしくは「続行」をクリックします。  
※Windows XP をお使いの場合、「ユーザーアカウント制御」画面は表示されません。
4. WM31 Data Connection Manager のインストールを開始します。「次へ」をクリックします。



5. 「ライセンス契約書」をご確認の上、「同意する」をクリックします。



6. インストール先を選択し、「インストール」をクリックします。



7. 以下の画面が表示されるとインストールが完了します。「完了」をクリックしてください。  
自動で WM31 Data Connection Manager が起動します。



WM31 Data Connection Manager がパソコンにインストールされているか確認します。

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ]の順にクリックします。

※Windows Vista の場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [システムとメンテナンス]の順にクリックします。

※Windows XP の場合

[スタート] → [コントロールパネル] → [パフォーマンスとメンテナンス] → [システム]の順にクリックします。

2. [デバイスマネージャ]をクリックします。

※Windows Vista の場合

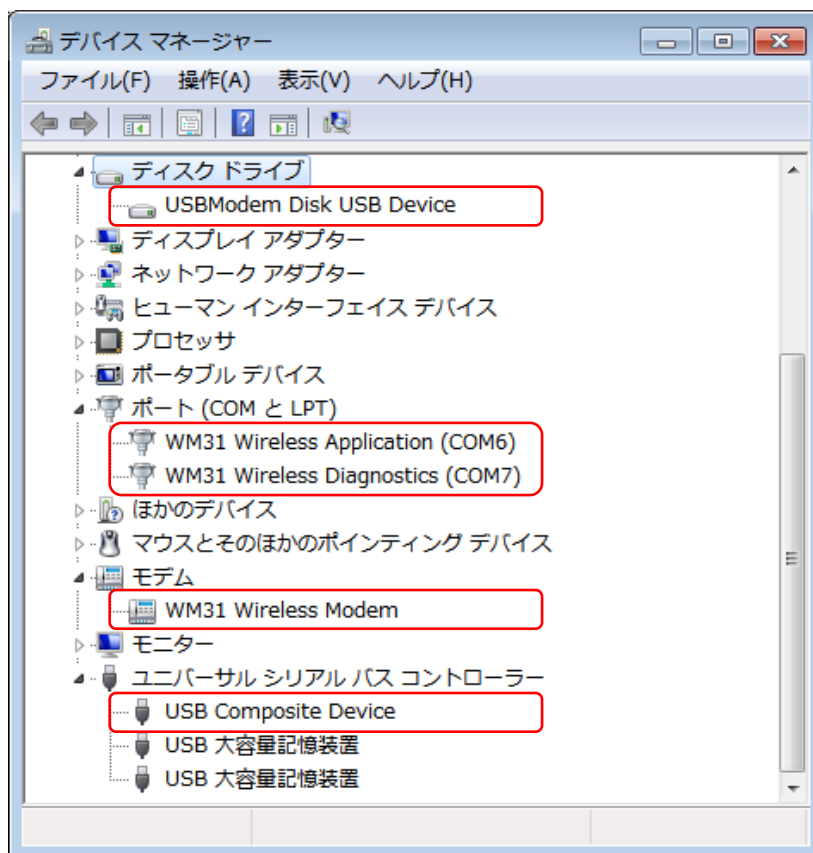
[デバイスマネージャ] → [続行]をクリックします。

※Windows XP の場合

[ハードウェア]タブをクリック→[デバイスマネージャ]をクリックします。

3. インストールされた通信設定用ファイル(ドライバ)を確認する。

「ディスクドライブ」「ポート(COMとLPT)」「モデム」「ユニバーサル シリアル バス コントローラー」の下にデバイス名が表示されているか確認してください。



デバイスの種類	デバイス名
ディスクドライブ	USBModem Disk USB Device
ポート(COMとLPT)	WM31 Wireless Application WM31 Wireless Diagnostics
モデム	WM31 Wireless Modem
ユニバーサル シリアル バス コントローラー	USB Composite Device
※Windows XP では以下の表示となります。 USB(Universal Serial Bus)コントローラ	※Windows XPとWindows Vista では以下の表示となります。 USB 複合デバイス

※COM ポート番号は、お使いのパソコンによって異なる場合があります。

※Windows XP のみ、デバイスの種類「記憶域ボリューム」、デバイス名「汎用ボリューム」が表示されます。

## 5.1.2 WM31 Data Connection Manager をアンインストールする

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムのアンインストール]を順にクリックします。

※Windows XP の場合

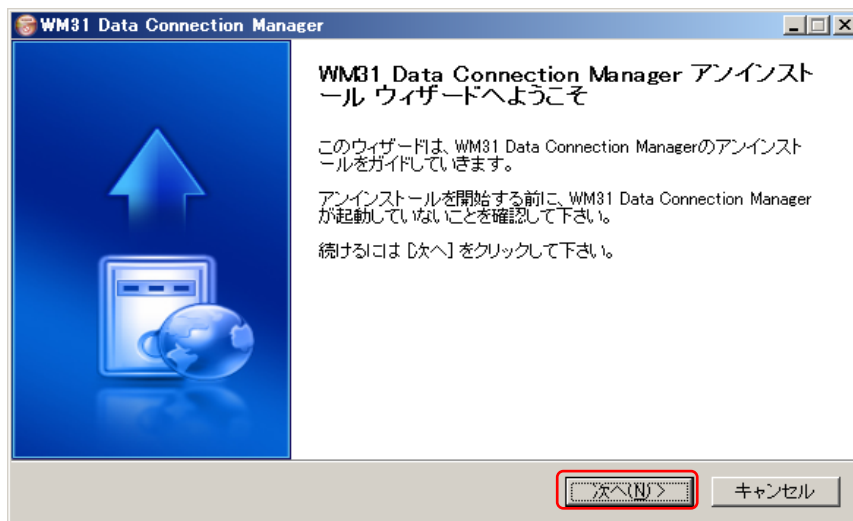
[スタート] → [コントロールパネル] → [プログラムの追加と削除]を順にクリックします。

2. [WM31 Data Connection Manager] を選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。

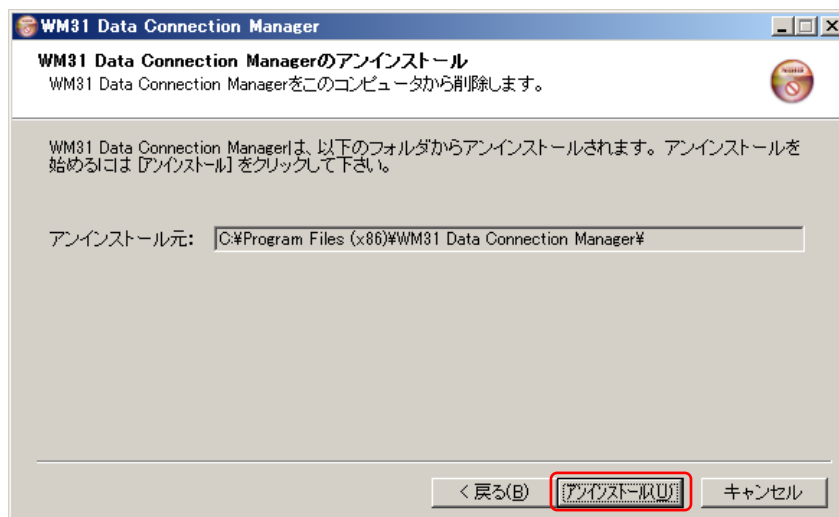
※Windows XP の場合

[WM31 Data Connection Manager] を選択し、「変更と削除」をクリックします。

3. [次へ]をクリックします。

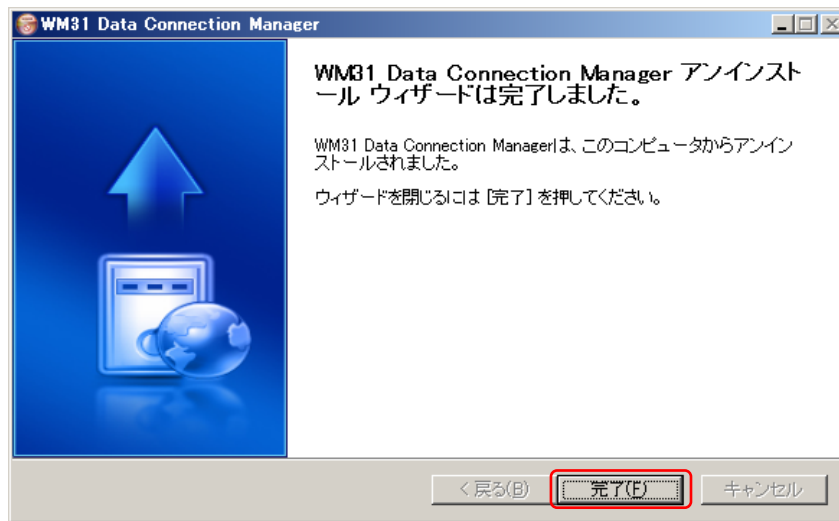


4. [アンインストール]をクリックします。





5. [完了]をクリックします。



## 5.2 インストール・アンインストール(Macintosh)

本製品をパソコンに接続すると CD-ROM アイコンが画面に表示されるので、そこからインストールを行う事ができます。

- ・ インストールを行う時は、OS を起動してから本製品をパソコンに取り付けてください。
- ・ インストール中はパソコンから本製品を取り外さないでください。インストールが正常に行われず、またシステムがダウンするなどの異常をおこす場合があります。
- ・ インストール／アンインストールは管理者権限で実施してください。
- ・ ご利用のパソコンによっては、インストールに数分かかる場合があります。
- ・ インストールを開始する前に起動中のアプリケーションは終了してください。

## 5.2.1 WM31 Data Connection Manager をインストールする

1. パソコンの電源を入れ、OS を起動します。
2. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。  
デスクトップに CD-ROM のアイコンが表示されます。
3. CD-ROM のアイコンをダブルクリックします。
4. 「MAC Installation」をダブルクリックすると、インストールが開始されます。  
デスクトップに CD-ROM アイコンが表示されない場合、「Finder」→「デバイス」→「WM31 Wireless Modem」→「MAC Installation」をダブルクリックしてください。
5. 「続ける」をクリックします。



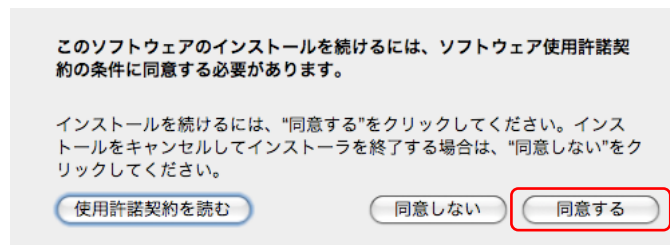
6. 「大切な情報」をご確認の上、「続ける」をクリックします。



7. 「使用許諾契約」をご確認の上、「続ける」をクリックします。

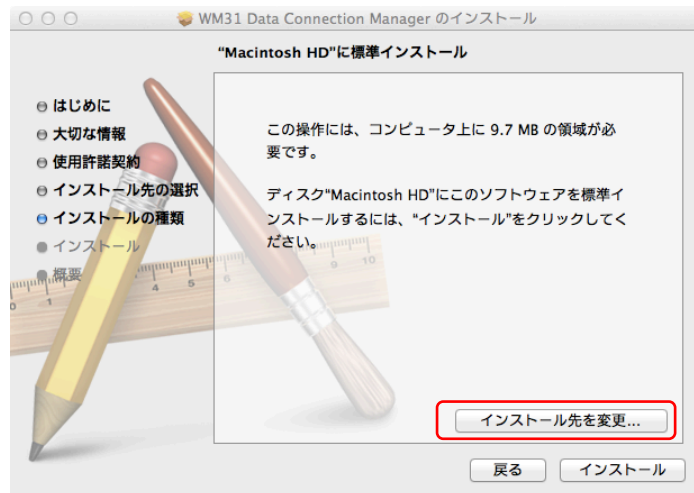


8. 「使用許諾契約」に同意する場合は、「同意する」をクリックします。



9. インストール先を変更する場合は、「インストール先を変更」をクリックします。

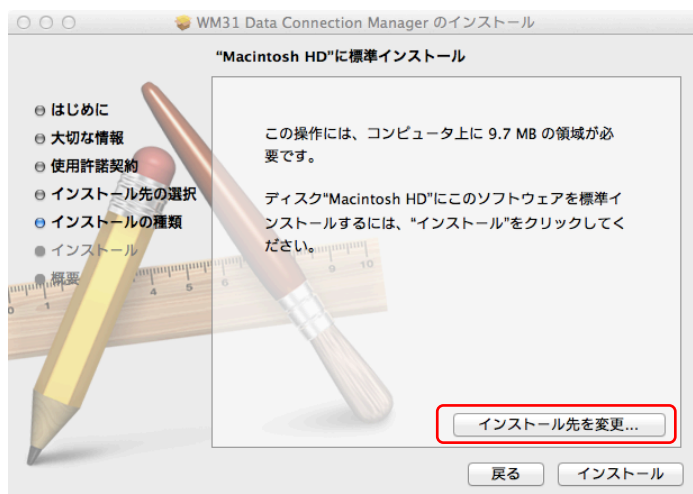
※お使いのパソコンによっては「インストール先を変更」が表示されない場合があります。その場合は手順 10へお進みください。



10. インストール先を選択し、「続ける」をクリックします。



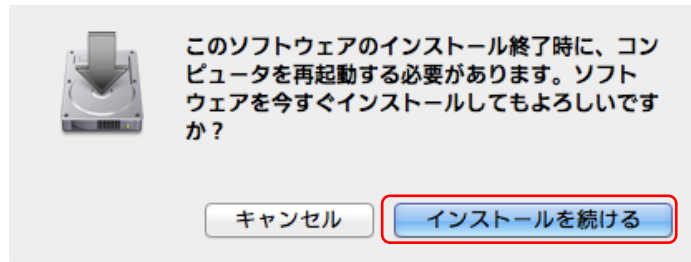
11. 「インストール」をクリックします。



12. 管理者パスワードを入力し、「ソフトウェアをインストール」をクリックします。



13. 「インストールを続ける」をクリックすると、インストールが開始されます。



14. 「再起動」をクリックします。パソコンが再起動し、インストールが完了します。



- 再起動する際は PC の USB ポートから端末を取り外してください。

## 5.2.2 WM31 Data Connection Manager をアンインストールする

- ・ パソコンから本製品を取り外してからアンインストールを行ってください。
- ・ 必ず管理者権限を持つユーザーアカウントでアンインストールを行ってください。

1. Finder を起動します。
2. アプリケーションフォルダ配下の「WM31 Data Connection Manager Uninstall」をダブルクリックします。
3. 「OK」をクリックします。



4. 管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



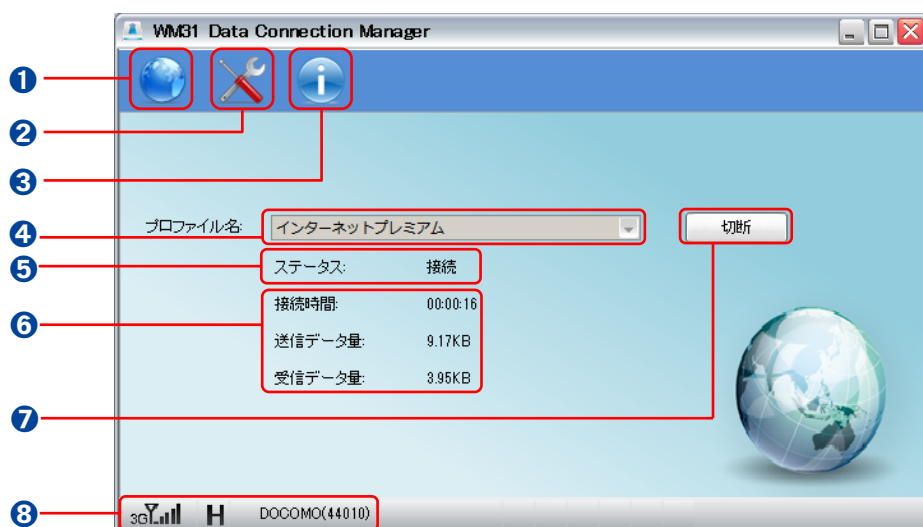
5. アンインストールが開始されます。

## 6. データ通信用ユーティリティソフト

### 6.1 データ通信用ユーティリティソフト操作方法(Windows)

本製品はデータ通信用ユーティリティソフトの WM31 Data Connection Manager がインストールされます。本ソフトを利用して Windows 上でデータ通信が利用できます。

#### 6.1.1 WM31 Data Connection Manager の画面構成



名称	機能
① 接続	接続画面を開きます。
② 環境設定	接続設定、PIN 管理の画面を開きます。
③ ヘルプ	ヘルプ(User Guide)と本製品のバージョン情報が表示されます。
④ プロファイル名	接続先のプロファイル名を表示します。
⑤ ステータス	本製品のネットワーク接続状態を表示します。 接続 : ネットワーク通信中 切断 : ネットワーク通信なし
⑥ 通信情報	ネットワーク接続を行っている間、以下の情報を表示します。 ・接続時間 ・送信データ量 ・受信データ量
⑦ 接続／切断ボタン	ネットワークへの接続および切断時、このボタンをクリックします。
⑧ 状態表示エリア	本製品の状態を表示します。



### 6.1.1.1 状態表示エリアの説明

状態表示エリア情報	状態
電波受信レベル	 圏外 ← → 強
ネットワークの種類	<b>H</b> HSDPA / HSUPA <sup>※2</sup> で通信中です。 (W-CDMA で通信中の場合は、非表示となります。)
通信事業者	サービスエリア内(圏内)の通信事業者名が表示されます。
通信事業者固有番号	通信ネットワーク情報 (PLMN) が表示されます。 PLMN は MCC (Mobile Country Code: 国番号) と MNC (Mobile Network Code: ネットワーク番号) の通信事業者固有番号を示します。 DOCOMO 環境下では、「DOCOMO(44010)」と表示されます。

※1 「W-CDMA(3G)」

世界標準規格である 3GPP に準拠した第 3 世代移動通信ネットワークです。3GPP とは、3rd Generation Partnership Project の略です。

※2 「HSDPA」(High Speed Downlink Packet Access)、「HSUPA」(High Speed Uplink Packet Access)

W-CDMA のデータ通信を高速化した規格です。


### 6.1.2 WM31 Data Connection Manager の起動

1. 本製品をパソコンに接続すると自動起動します。  
自動的に起動されない場合は、「スタートメニュー」→「プログラム」→「WM31 Data Connection Manager」フォルダから「WM31 Data Connection Manager」をクリックしてください。

### 6.1.3 WM31 Data Connection Manager の終了

1. メイン画面の上端にある「×」をクリックします。

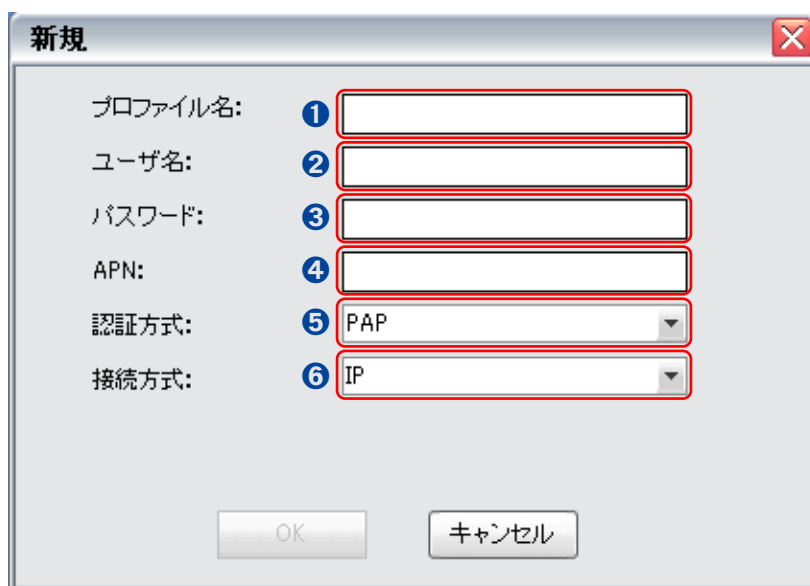
## 6.1.4 接続設定

1.  をクリックします。
2. 「設定」→「接続設定」をクリックします。

### 6.1.4.1 プロファイル設定

データ通信を利用する為のプロファイル設定を行います。本製品は、初期設定された接続先が登録されていますが、登録されている接続先を使用しない場合は、以下手順に従い、本設定を行ってください。

1. 設定画面で「接続設定」→「プロファイル設定」をクリックします。
2. プロファイル設定画面で「新規」をクリックします。
3. プロファイルの設定を行います。



The screenshot shows a dialog box titled "新規" (New) with a close button (X) in the top right corner. The dialog contains the following fields and options:

- 1. プロファイル名: (Profile Name) - Text input field
- 2. ユーザ名: (Username) - Text input field
- 3. パスワード: (Password) - Text input field
- 4. APN: - Text input field
- 5. 認証方式: (Authentication Method) - Dropdown menu with "PAP" selected
- 6. 接続方式: (Connection Method) - Dropdown menu with "IP" selected

At the bottom of the dialog, there are two buttons: "OK" and "キャンセル" (Cancel).

名称	機能
① プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。 プロファイル名は最大「半角 64 文字」「全角 32 文字」まで入力できます。
② ユーザ名	事業者より提供されているユーザ名を入力します。 ユーザ名は最大「半角 64 文字」まで入力できます。
③ パスワード	事業者より提供されているパスワードを入力します。 ユーザ名は最大「半角 64 文字」まで入力できます。
④ APN	接続先の APN を入力します。 APN は最大「半角 100 文字」まで入力できます。
⑤ 認証方式	事業者より指定される認証方式を「PAP」「CHAP」の2種類から選択します。

#### ⑥ 接続方式

接続するプロバイダなどが対応する接続方式を「IP」「PPP」の2種類から選択します。

4. 「OK」をクリックします。
5. 作成したプロファイルを選択して「接続先設定」をクリックします。

- ・ 事業者から指定された値を設定してください。設定を間違えると正しく接続できません。
- ・ 「OK」をクリックしないと設定が変更されません。必ずクリックしてください。
- ・ 複数のプロファイルの作成が可能です。指定するプロファイルで接続する際は、プロファイルを選択し、「接続先設定」を行ってください。
- ・ 各設定の最大文字数は WM31 の仕様であり、各事業者が指定する文字数の上限とは異なります。

## 6.1.5 接続・切断

1. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
2. 自動的に WM31 Data Connection Manager が起動します。  
自動的に起動されない場合は、「スタートメニュー」→「プログラム」→「WM31 Data Connection Manager」フォルダから「WM31 Data Connection Manager」をクリックしてください。
3. ネットワークへ接続する為のプロファイルを選択します。
4. メイン画面で「接続」ボタンをクリックします。ネットワークへの接続が開始されます。



5. ネットワークへの接続が完了するとボタンが「切断」に変わり、接続時間、送受信データ量が表示されます。



6. メイン画面で「切断」ボタンをクリックします。ネットワークへの切断が開始されます。
7. ネットワークへの切断が完了するとボタンが「接続」に変わります。

## 6.1.6 PIN 管理

SIM カードは「PIN1 認証有効」「PIN1 認証無効」「PIN1 変更」の設定ができます。

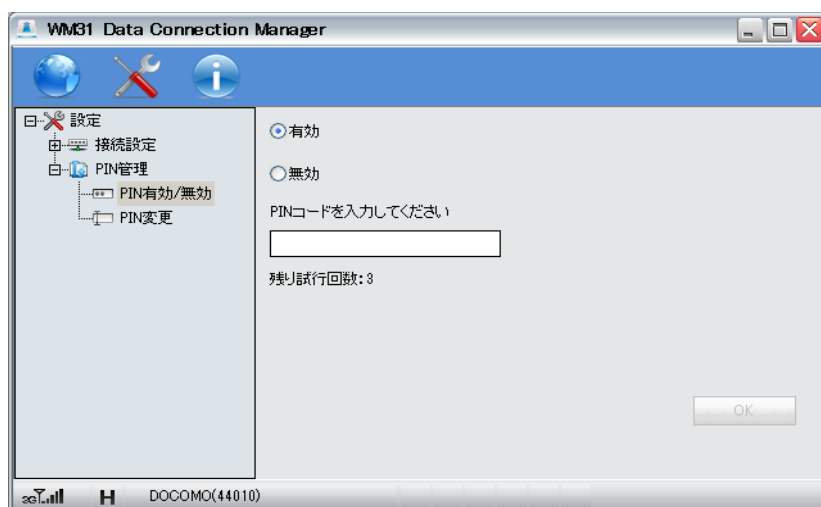
PINとは第三者による不正利用を防ぐための4～8桁のコードです。「PIN1 認証有効」に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際にPINコードの入力が必要となります。

お買い上げ時の設定については、購入先の事業者にお問い合わせください。

- ・ PIN1 コードは、事業者から指定された値を入力してください。
- ・ PIN1 コードは他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PIN1 コードには「生年月日」「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。
- ・ PIN1 コードの入力を3回間違えた場合、PINロック解除コードが必要となります。詳しくはご契約先の事業者にお問い合わせください。

### 6.1.6.1 PIN 有効

1. PIN 管理画面で「PIN 有効/無効」を選択します。
2. 「有効」を選択します。



3. SIM カードに設定している PIN1 コードを入力します。PIN1 認証が有効となります。

- ・ PIN1 認証が有効に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際に PIN1 コードの入力が必要です。PIN1 コードを忘れないようにご注意ください。

### 6.1.6.2 PIN 無効

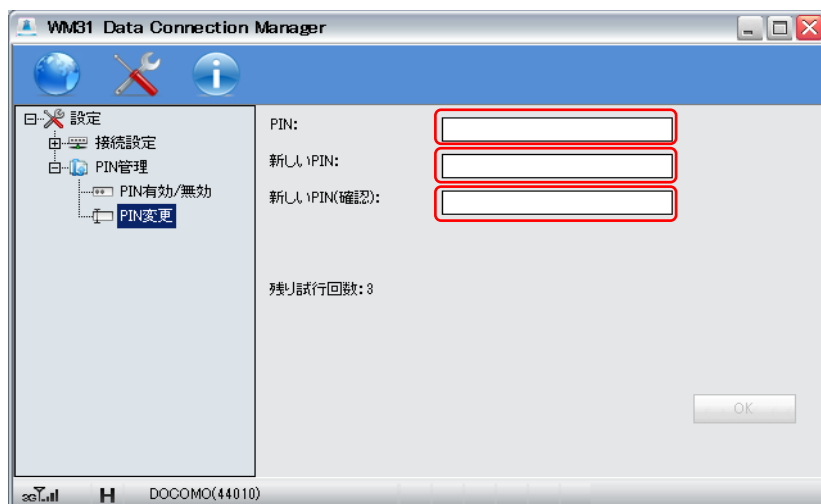
1. PIN 管理画面で「PIN 有効／無効」を選択します。
2. 「無効」を選択します。



3. SIM カードに設定している PIN1 コードを入力します。PIN1 認証が無効となります。

### 6.1.6.3 PIN 変更

1. PIN 管理画面で「PIN 変更」を選択します。

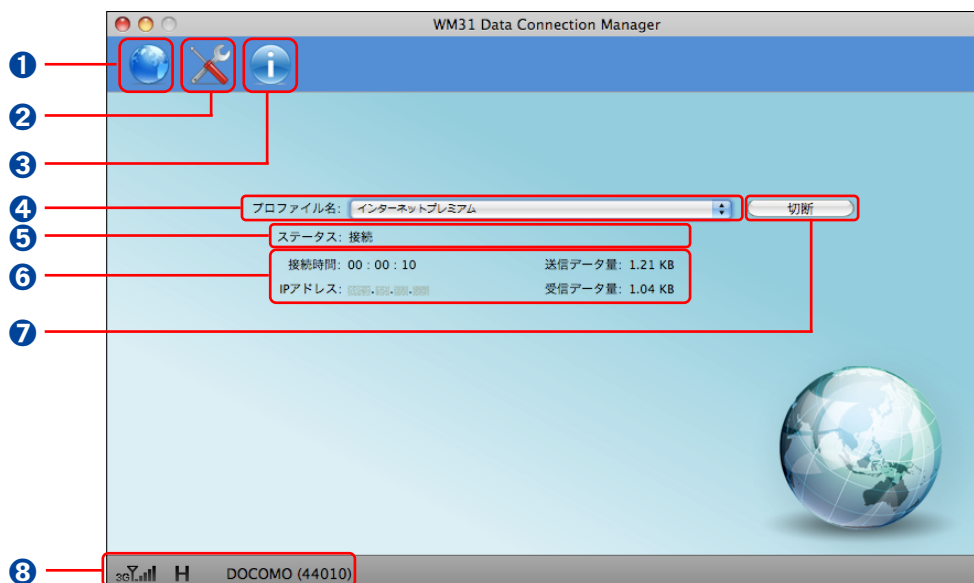


2. 現在設定している PIN1 コードを「PIN」に入力します。
3. 変更する PIN1 コードを「新しい PIN」に入力します。
4. 「新しい PIN(確認)」に「新しい PIN」で入力した PIN1 コードを入力します。
5. 「OK」をクリックします。

## 6.2 データ通信用ユーティリティソフト操作方法(Macintosh)

本製品はデータ通信用ユーティリティソフトの WM31 Data Connection Manager がインストールされます。本ソフトを利用して Macintosh 上でデータ通信が利用できます。

### 6.2.1 WM31 Data Connection Manager の画面構成



名称	機能
① 接続	接続画面を開きます。
② 環境設定	接続設定、PIN 管理の画面を開きます。
③ ヘルプ	ヘルプ(User Guide)や本製品のバージョン情報が表示されます。
④ プロファイル名	接続先のプロファイル名を表示します。
⑤ ステータス	本製品のネットワーク接続状態を表示します。 接続中 : ネットワーク接続中 接続 : ネットワーク通信中 切断中 : ネットワーク切断中 切断 : ネットワーク通信なし
⑥ 通信情報	ネットワーク接続を行っている間、以下の情報を表示します。 ・接続時間 ・IP アドレス ・送信データ量 ・受信データ量
⑦ 接続／切断ボタン	ネットワークへの接続および切断時、このボタンをクリックします。
⑧ 状態表示エリア	本製品の状態を表示します。

## 6.2.1.1 状態表示エリアの説明

状態表示エリア情報	状態
電波受信レベル	 圏外 ← → 強  W-CDMA <sup>※1</sup> / HSDPA / HSUPA <sup>※2</sup> を利用できます。
ネットワークの種類	<b>H</b> HSDPA / HSUPA <sup>※2</sup> で通信中です。 (W-CDMA で通信中の場合は、非表示となります。)
通信事業者	サービスエリア内(圏内)の通信事業者名が表示されます。
通信事業者固有番号	通信ネットワーク情報 (PLMN) が表示されます。 PLMN は MCC (Mobile Country Code : 国番号) と MNC (Mobile Network Code : ネットワーク番号) の通信事業者固有番号を示します。 DOCOMO 環境下では、「DOCOMO(44010)」と表示されます。

※1 「W-CDMA(3G)」

世界標準規格である 3GPP に準拠した第 3 世代移動通信ネットワークです。3GPP とは、3rd Generation Partnership Project の略です。

※2 「HSDPA」(High Speed Downlink Packet Access)、「HSUPA」(High Speed Uplink Packet Access)

W-CDMA のデータ通信を高速化した規格です。




## 6.2.2 WM31 Data Connection Manager の起動

1. 本製品をパソコンに接続すると自動起動します。  
自動的に起動されない場合は、ハードディスクアイコンから「アプリケーション」を開き、「WM31 Data Connection Manager」をダブルクリックしてください。
2. 「新しいネットワークインターフェースが検出されました。」の画面が表示された場合、「キャンセル」をクリックします。

## 6.2.3 WM31 Data Connection Manager の終了

1. メイン画面の上端にある赤い丸ボタンをクリックします。

## 6.2.4 接続設定

1.  をクリックします。
2. 「設定」→「接続」をクリックします。

### 6.2.4.1 プロファイル設定

データ通信を利用する為のプロファイル設定を行います。プロファイルの設定がされていない場合、データ通信が利用できません。必ず本設定を行ってください。

1. 設定画面で「接続」→「接続設定」をクリックします。
2. 接続設定画面で「新規」をクリックします。
3. プロファイルの設定を行います。



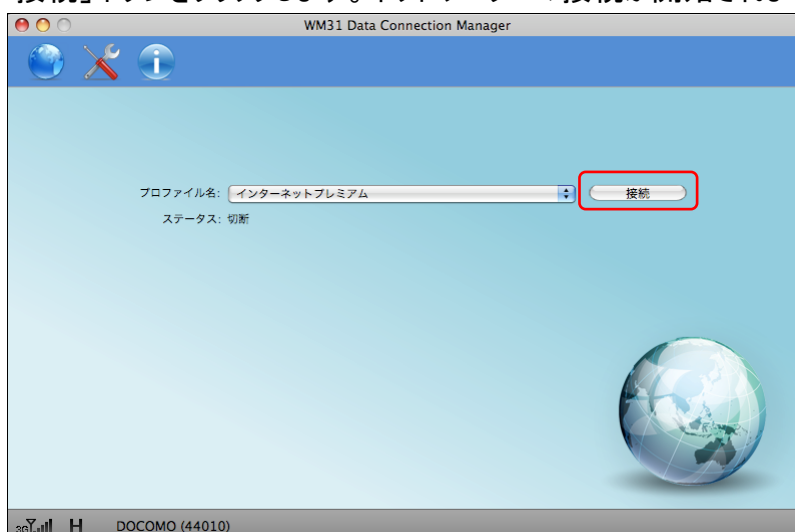
名称	機能
① プロファイル名	任意のプロファイル名を入力します。 プロファイル名は最大「半角 64 文字」「全角 32 文字」まで入力できます。
② ユーザ名	事業者より提供されているユーザ名を入力します。 ユーザ名は最大「半角 64 文字」まで入力できます。
③ パスワード	事業者より提供されているパスワードを入力します。 ユーザ名は最大「半角 64 文字」まで入力できます。
④ APN	接続先の APN を入力します。 APN は最大「半角 100 文字」まで入力できます。
⑤ 認証方式	事業者より指定される認証方式を「PAP」「CHAP」の 2 種類から選択します。
⑥ 接続方式	接続するプロバイダなどが対応する接続方式を「IP」「PPP」の 2 種類から選択します。

4. 「完了」をクリックします。
5. 作成したプロファイルを選択して「デフォルト設定」をクリックします。

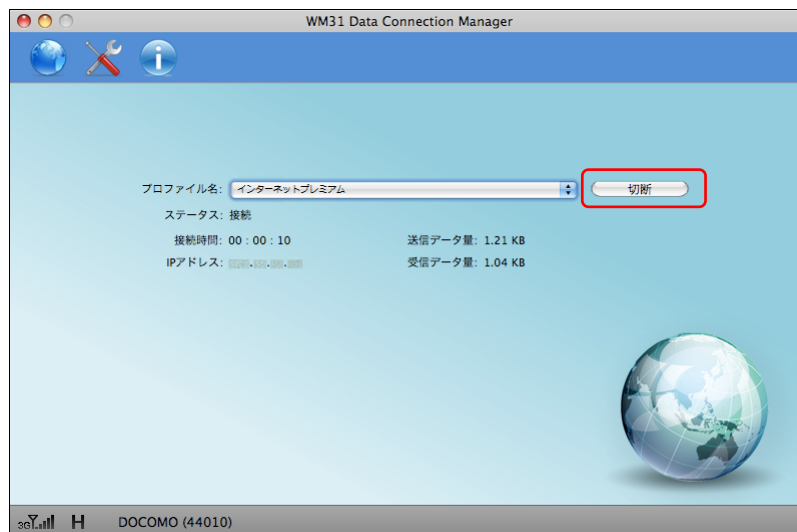
- ・ 事業者から指定された値を設定してください。設定を間違えると正しく接続できません。
- ・ 「完了」をクリックしないと設定が変更されません。必ずクリックしてください。
- ・ 複数のプロファイルの作成が可能です。指定するプロファイルで接続する際は、プロファイルを選択し、「デフォルト設定」を行ってください。
- ・ 各設定の最大文字数は WM31 の仕様であり、各事業者が指定する文字数の上限とは異なります。

## 6.2.5 接続・切断

1. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
2. 自動的に WM31 Data Connection Manager が起動します。
3. ネットワークへ接続する為のプロファイルを選択します。
4. メイン画面で「接続」ボタンをクリックします。ネットワークへの接続が開始されます。



5. ネットワークへの接続が完了すると「ステータス:接続」と表示されます。



6. メイン画面で「切断」ボタンをクリックします。ネットワークへの切断が開始されます。
7. ネットワークへの切断が完了すると「ステータス:切断」と表示されます。

## 6.2.6 PIN 管理

SIM カードは「PIN1 認証有効」「PIN1 認証無効」「PIN1 変更」の設定ができます。

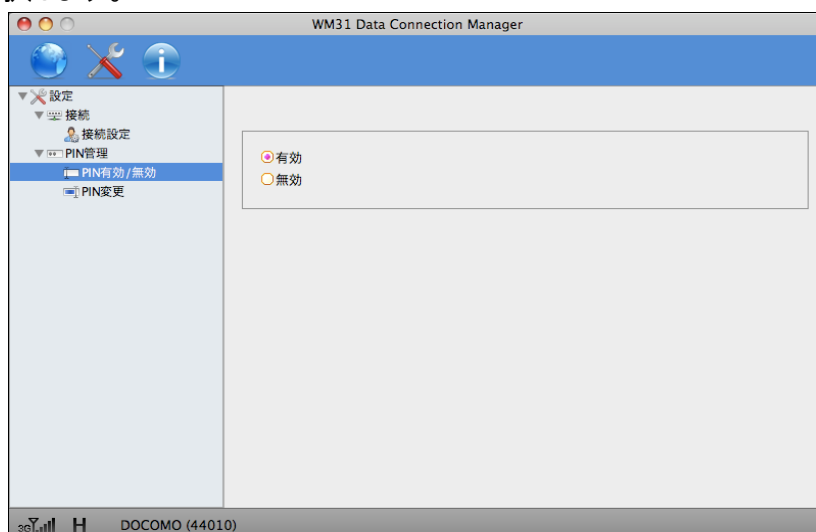
PINとは第三者による不正利用を防ぐための4～8桁のコードです。「PIN1 認証有効」に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際にPINコードの入力が必要となります。

お買い上げ時の設定については、購入先の事業者にお問い合わせください。

- ・ PIN1 コードは、事業者から指定された値を入力してください。
- ・ PIN1 コードは他人に知られないように十分注意してください。
- ・ PIN1 コードには「生年月日」「電話番号の一部」など分かりやすい番号は避けてください。
- ・ PIN1 コードの入力を3回間違えた場合、PINロック解除コードが必要となります。詳しくはご契約先の事業者にお問い合わせください。

### 6.2.6.1 PIN 有効

1. PIN 管理画面で「PIN 有効／無効」を選択します。
2. 「有効」を選択します。

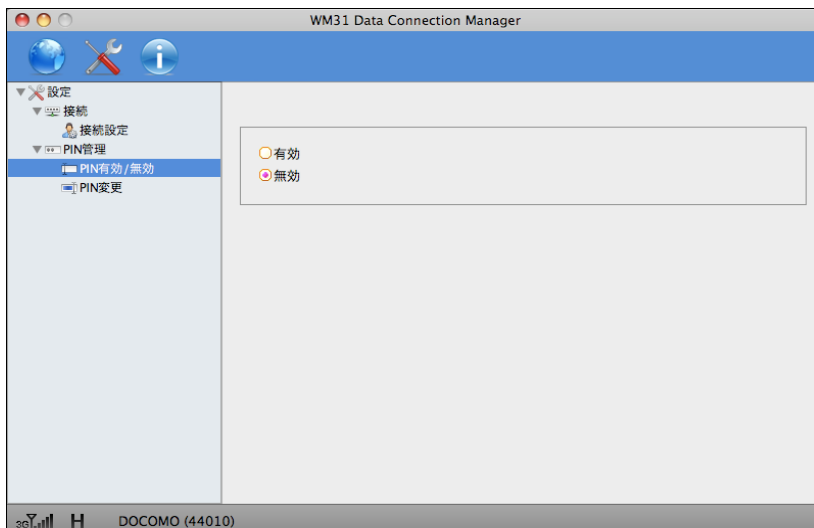


3. SIM カードに設定している PIN1 コードを入力します。PIN1 認証が有効となります。

- ・ PIN1 認証が有効に設定された場合、本製品をパソコンに接続する際に PIN1 コードの入力が必要です。PIN1 コードを忘れないようにご注意ください。

## 6.2.6.2 PIN 無効

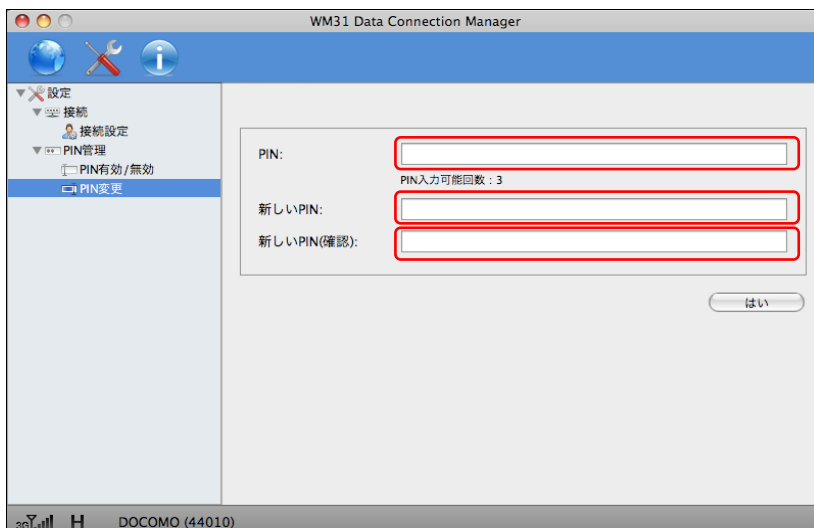
1. PIN 管理画面で「PIN 有効／無効」を選択します。
2. 「無効」を選択します。



3. SIM カードに設定している PIN1 コードを入力します。PIN1 認証が無効となります。

## 6.2.6.3 PIN 変更

1. PIN 管理画面で「PIN 変更」を選択します。



2. 現在設定している PIN1 コードを「PIN」に入力します。
3. 変更する PIN1 コードを「新しい PIN」に入力します。
4. 「新しい PIN(確認)」に「新しい PIN」で入力した PIN1 コードを入力します。
5. 「はい」をクリックします。

## 7. 手動接続 (Windows)

Windows のダイヤルアップを使用して、データ通信を行う事ができます。

### 7.1 プロファイルの設定

接続先のプロファイル(APN)を設定するには、ATコマンドを入力する為の通信ソフトが必要です。

Windows XP標準のハイパーターミナルを使った接続先のプロファイル(APN)を設定方法について説明します。

1. パソコンの電源を入れ、OS を起動します。
2. 本製品をパソコンの USB ポートに接続します。
3. [スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ハイパーターミナル]の順にクリックします。
4. [名前]欄に任意の名前を入力して「OK」をクリックします。
5. [電話番号]欄に実在しない番号を入力します。  
[接続方法]に WM31 Wireless Application の COM ポートを選択して「OK」をクリックします。
6. 接続画面で[キャンセル]をクリックします。
7. 接続先のプロファイルを入力します。入力後「Enter」を押してください。

AT+CGDCONT=<cid>,”<PDP type>”,”<APN>”の形式で入力します。

<cid> : 1～15の範囲で入力します。

<PDP type> : 「IP」と入力します。

<APN> : APNを入力します。※接続先のAPNを入力してください。

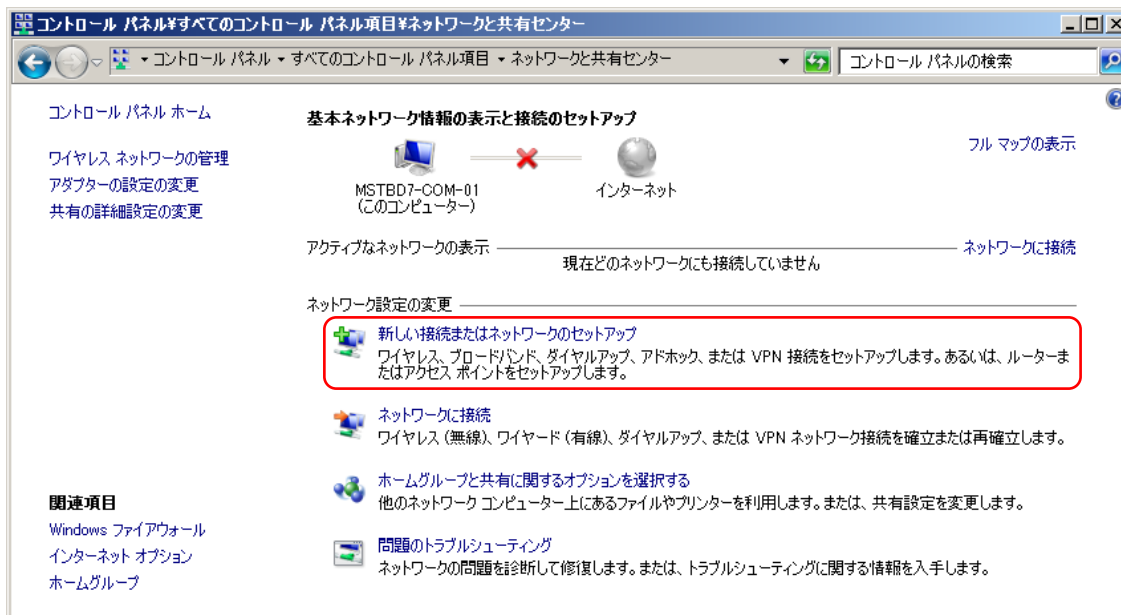
8. 「OK」と表示されている事を確認します。
9. 「ファイル」→「ハイパーターミナルの終了」を順にクリックします。
10. 切断の確認画面で「はい」をクリックします。
11. 保存確認画面で「いいえ」をクリックします。ハイパーターミナルが終了し接続先の設定が完了します。

- ・ Windows7、Vista はハイパーターミナルに対応していません。Windows7、Vista の場合は各 OS に対応したソフトウェアを使用して設定してください。設定方法は各ソフトウェアの操作説明に従ってください。
- ・ AT コマンドを入力する際、画面に表示されない場合は、ATE と入力し「Enter」を押してください。

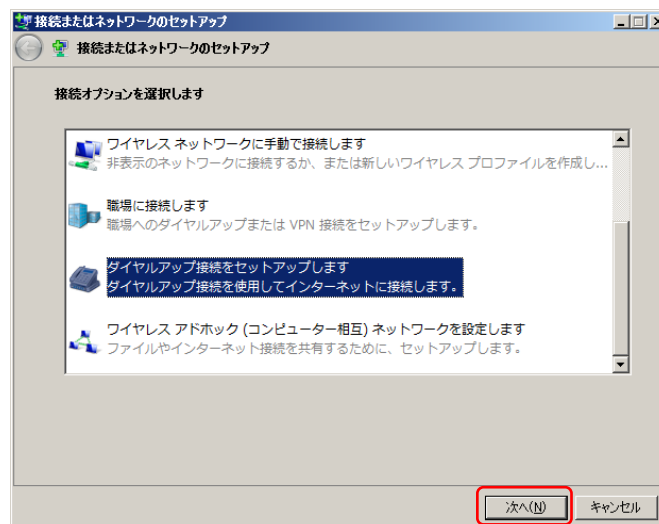
## 7.2 ダイアルアップネットワークの手動設定

【Windows7の場合】

1. [スタート]→[コントロールパネル]→[ネットワークとインターネット]→[ネットワークと共有センター]の順にクリックします。
2. [新しい接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。

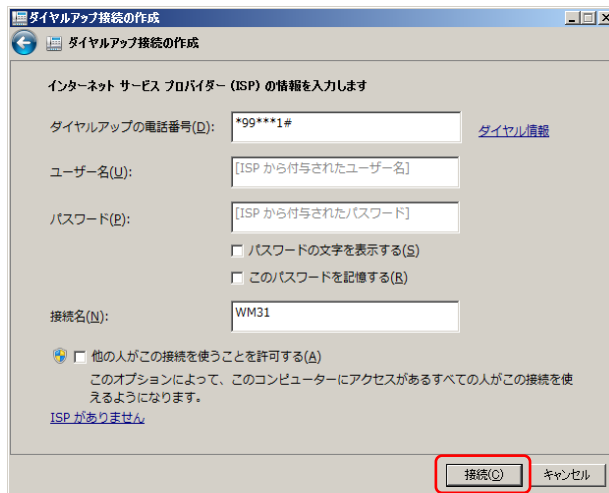


3. [ダイヤルアップ接続をセットアップします]を選択し、「次へ」をクリックします。



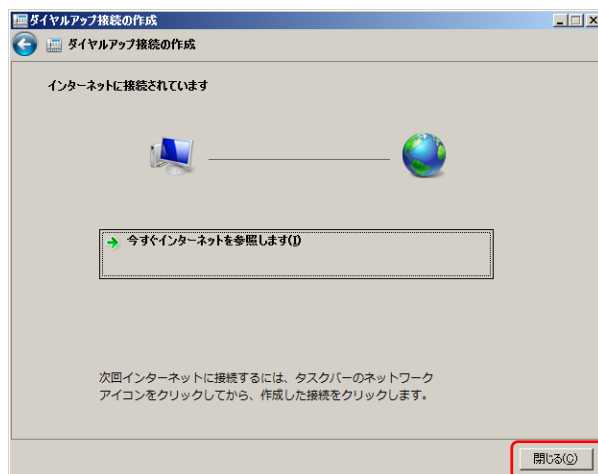


4. モデムの選択画面が表示される場合は、WM31 Wireless Modem をクリックします。
5. 各種設定を行い、「接続」をクリックします。



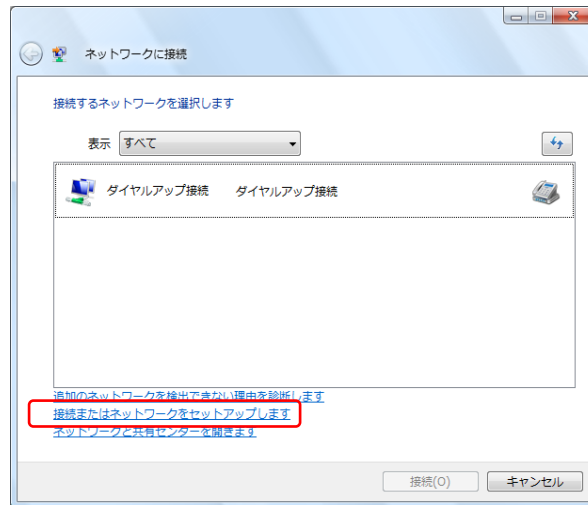
- ・「ダイヤルアップの電話番号」には、\*99\*\*\*<cid>#を入力します。<cid>には設定したプロファイルの CID を指定してください。
- ・「ユーザー名」「パスワード」には接続先ネットワークの情報を入力してください。

6. 接続テスト完了後、「閉じる」をクリックします。

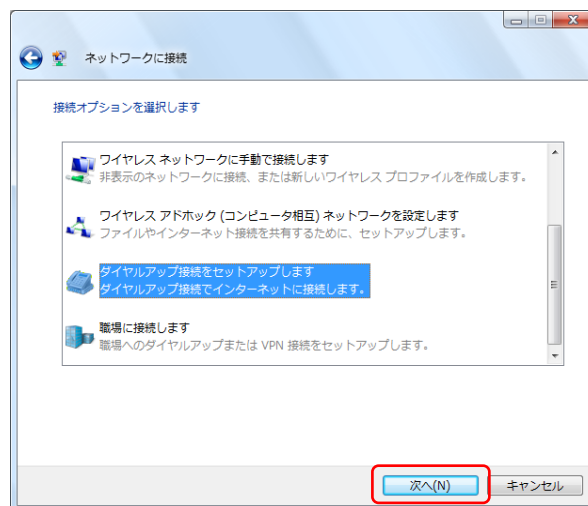


【Windows Vistaの場合】

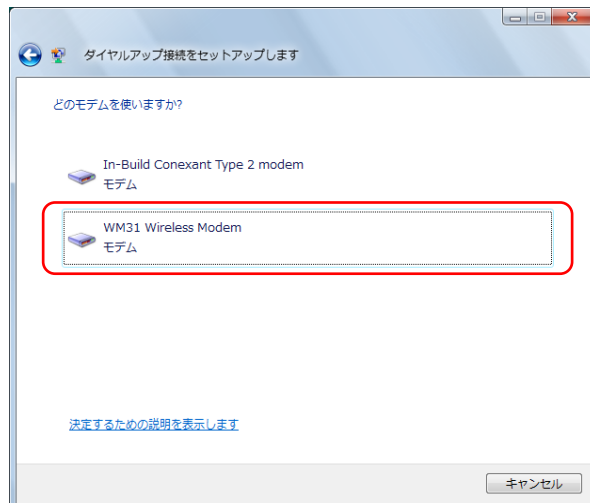
1. [スタート] → [接続先]の順にクリックします。
2. [接続またはネットワークをセットアップします]をクリックします。



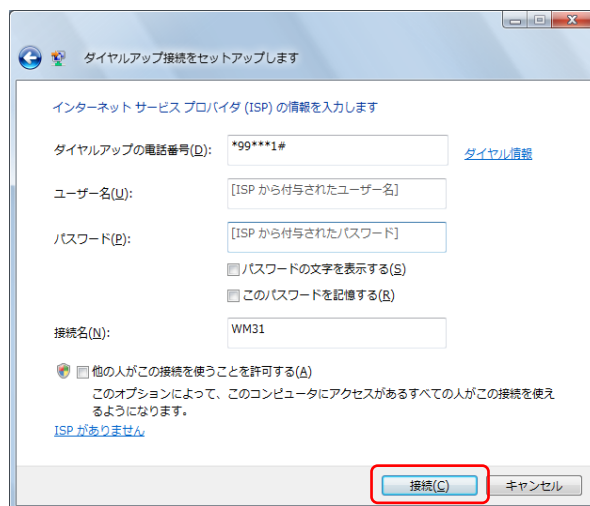
3. [ダイヤルアップ接続をセットアップします]を選択し、「次へ」をクリックします。



4. モデムの選択画面が表示されます。WM31 Wireless Modem を選択します。

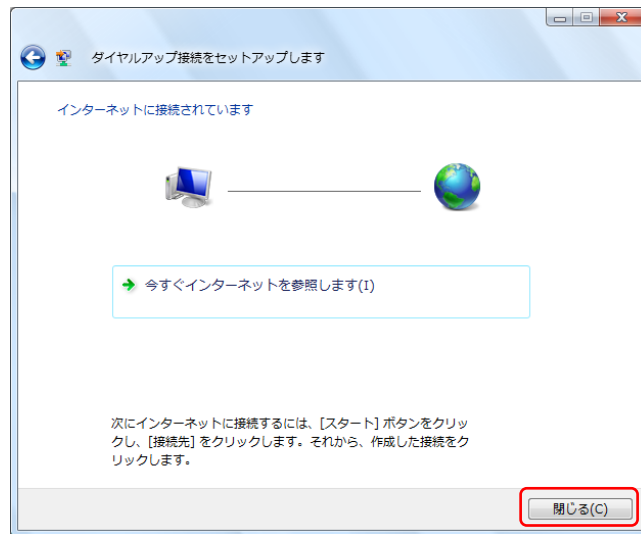


5. 各種設定を行い、「接続」をクリックします。



- ・「ダイヤルアップの電話番号」には、\*99\*\*\*<cid>#を入力します。<cid>には設定したプロファイルの CID を指定してください。
- ・「ユーザー名」「パスワード」には接続先ネットワークの情報を入力してください。

6. 接続テスト完了後、「閉じる」をクリックします。

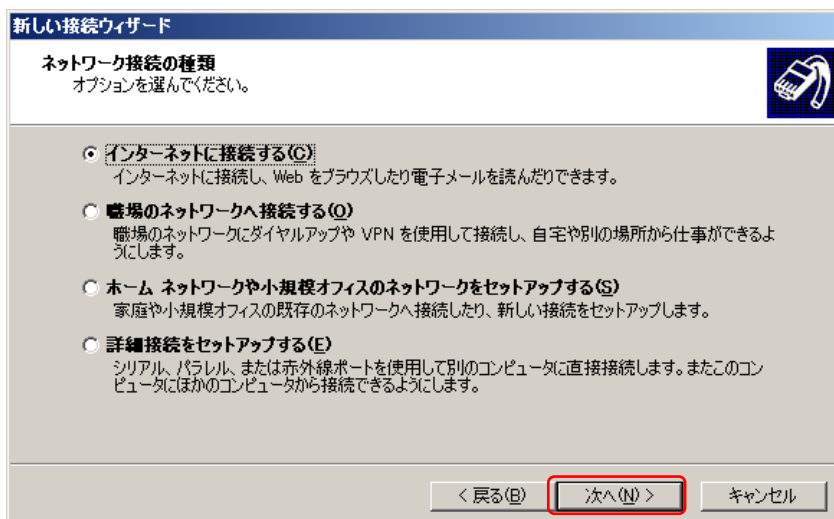


【Windows XPの場合】

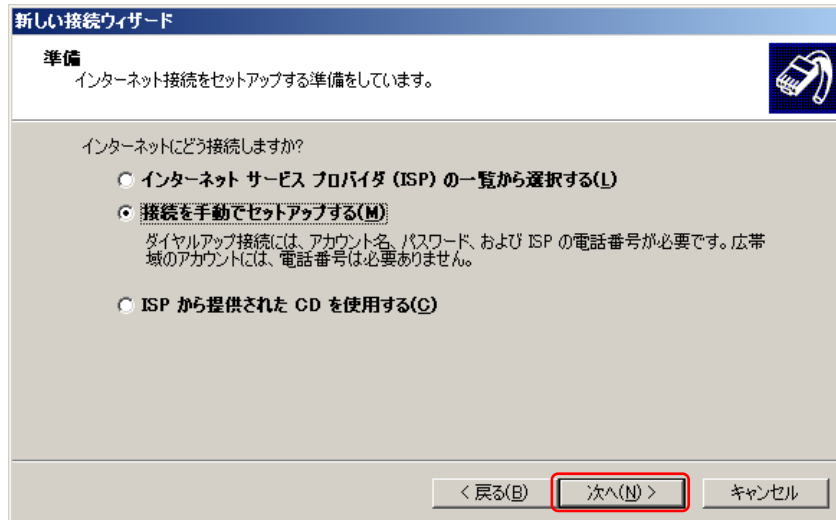
1. [スタート]→[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[通信] →[新しい接続ウィザード]の順にクリックします。
2. 新しい接続ウィザード画面で「次へ」をクリックします。



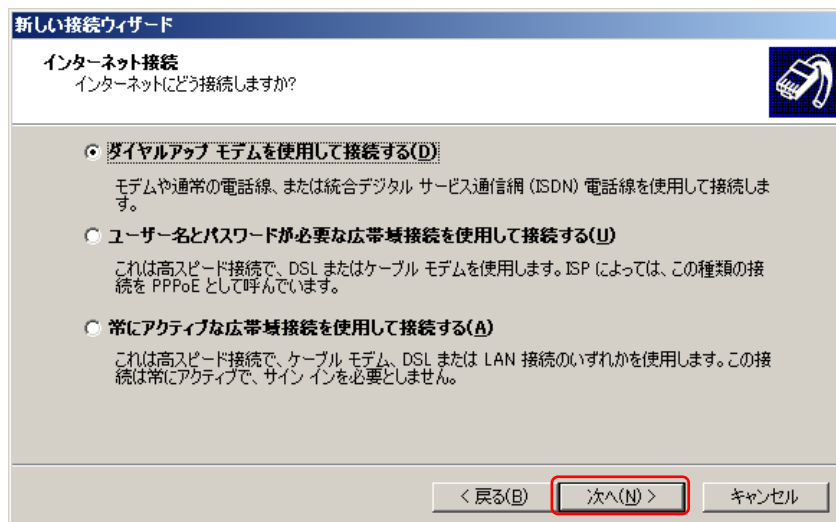
3. 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックします。



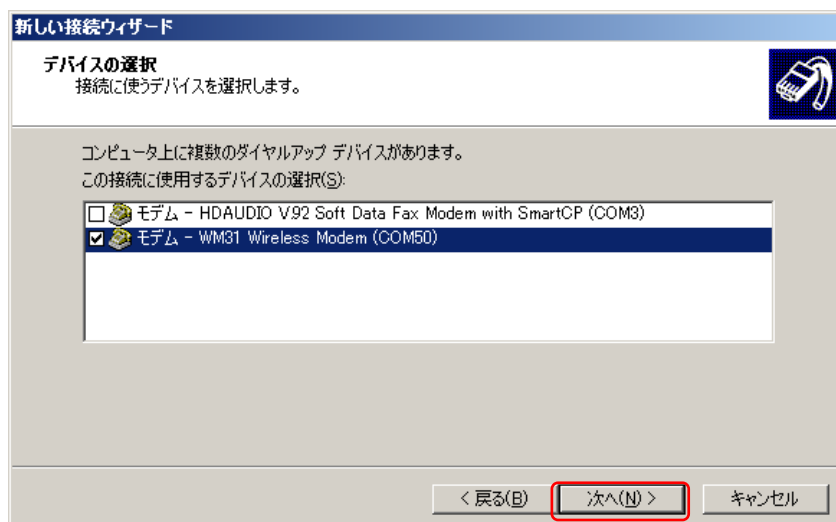
4. 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックします。



5. 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックします。



6. デバイスの選択画面が表示される場合は、WM31 Wireless Modem を選択し、「次へ」をクリックします。



7. 「ISP 名」に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックします。

新しい接続ウィザード

**接続名**  
インターネット接続を提供するサービスの名前は何ですか?

次のボックスに ISP の名前を入力してください。

ISP 名(A)

WM31

ここに入力された名前は作成している接続の名前になります。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

8. 「電話番号」に\*99\*\*<cid>#を入力し、「次へ」をクリックします。  
<cid>には設定したプロファイルの CID を指定してください。

新しい接続ウィザード

**ダイヤルする電話番号**  
ISP の電話番号を指定してください。

下に電話番号を入力してください。

電話番号(P):

\*99\*\*1#

識別番号または市外局番が必要な場合があります。よくわからないときは、電話でその電話番号にダイヤルしてください。モデムの音が聞こえる場合はダイヤルしたその番号が正解です。

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

9. 接続の利用範囲を設定し、「次へ」をクリックします。

※お使いのパソコンによっては「接続の利用範囲」が表示されない場合があります。その場合は手順 10 へお進みください。

新しい接続ウィザード

**接続の利用範囲**  
新しい接続をすべてのユーザー用、または自分専用指定できます。

現在ログオンしているユーザー個人だけが利用できるように作成された接続は、そのユーザーのユーザーアカウントに保存され、そのユーザーがログオンしたときだけ利用できます。

この接続を利用できるユーザーを指定します:

すべてのユーザー(A)

自分のみ(M)

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

10. 「ユーザ名」「パスワード」「パスワードの確認入力」を入力し、「次へ」をクリックします。

The screenshot shows the '新しい接続ウィザード' (New Connection Wizard) dialog box. The title bar is blue with the text '新しい接続ウィザード'. Below the title bar, there is a section titled 'インターネット アカウント情報' (Internet Account Information) with a sub-header 'インターネット アカウントにサインインするにはアカウント名とパスワードが必要です。' (To sign in to an Internet account, you need an account name and password.) and a small icon of a hand holding a mouse. Below this, there is a paragraph of instructions: 'ISP アカウント名およびパスワードを入力し、この情報を書き留めてから安全な場所に保管してください。(既存のアカウント名またはパスワードを忘れてしまった場合は、ISP に問い合わせてください。)' (Enter your ISP account name and password, save this information, and store it in a safe place. (If you forget your account name or password, contact your ISP.))

Below the instructions are three input fields: 'ユーザー名(U):' (User name), 'パスワード(P):' (Password), and 'パスワードの確認入力(C):' (Confirm password). Below the input fields are two checked checkboxes: ' このコンピュータからインターネットに接続するときは、だれでもこのアカウント名およびパスワードを使用する(S)' (When connecting to the Internet from this computer, anyone can use this account name and password) and ' この接続を既定のインターネット接続とする(M)' (Make this connection the default Internet connection).

At the bottom of the dialog box, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '次へ(N) >' (Next), and 'キャンセル' (Cancel). The '次へ(N) >' button is highlighted with a red rectangle.

11. 「完了」をクリックします。

The screenshot shows the '新しい接続ウィザード' (New Connection Wizard) dialog box. The title bar is blue with the text '新しい接続ウィザード'. Below the title bar, there is a section titled '新しい接続ウィザードの完了' (Completion of the New Connection Wizard) with a sub-header '次の接続の作成に必要な手順は正常に完了しました。' (The steps required to create the next connection have been completed normally.) and a small icon of a hand holding a mouse. Below this, there is a section titled 'WM31' with a bulleted list: '既定の接続にする' (Make the default connection), 'このコンピュータのすべてのユーザーと共有する' (Share with all users on this computer), and 'すべての人に同じユーザー名とパスワードを使用する' (Use the same user name and password for everyone).

Below the list, there is a paragraph: 'この接続は、[ネットワーク接続] フォルダに保存されます。' (This connection will be saved in the [Network Connections] folder.) Below this is a checkbox: ' この接続へのショートカットをデスクトップに追加する(S)' (Add a shortcut to this connection to the desktop).

Below the checkbox, there is a paragraph: '接続を作成してウィザードを開じるには、[完了] をクリックしてください。' (To create the connection and open the wizard, click [Finish].)

At the bottom of the dialog box, there are three buttons: '< 戻る(B)' (Back), '完了' (Finish), and 'キャンセル' (Cancel). The '完了' button is highlighted with a red rectangle.



## 7.3 ダイアルアップネットワークの接続

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] → [アダプターの設定の変更]の順にクリックします。

※Windows Vista の場合

[スタート] → [接続先]の順にクリックします。

※Windows XP の場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワーク接続]の順にクリックします。

2. 設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。
3. 「ユーザ名」「パスワード」を入力し「ダイヤル」をクリックします。

ダイヤル番号には、\*99\*\*\*<cid># を入力します(<cid>には設定したプロファイルの CID をしてください)。



## 7.4 ダイアルアップネットワークの切断

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット] → [ネットワークと共有センター] → [アダプターの設定の変更]の順にクリックします。

※Windows Vista の場合

[スタート] → [接続先]の順にクリックします。

※Windows XP の場合

[スタート] → [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [通信] → [ネットワーク接続]の順にクリックします。

2. 設定した接続先のアイコンをダブルクリックします。
3. 「切断」をクリックします。



## 8. 困ったときに

### 8.1 本製品が動作しない場合の確認事項

本製品が正常に動作しない場合は、以下の内容を確認してください。確認しても動作しない場合は、サポートデスクまでお問い合わせください。

症状	確認内容
本製品を差し込んでもパソコンが反応しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・本製品が正しく接続されていない可能性があります。本製品を一度取り外し、奥までしっかりと差し込んでください。</li><li>・お使いのパソコンにより、本製品を接続しても、自動でセットアップが開始されない場合があります。デスクトップ画面の[スタート]から[コンピュータ]を開き、[WM31 Wireless Modem]フォルダの中の[WM31_DataConnectionManager.exe]をダブルクリックしてください。セットアップを開始します。</li><li>・本製品のドライバが正常に機能していない可能性があります。ドライバが正しく設定されていることを確認の上、本製品をパソコンへ接続してください。</li></ul>
ユーティリティが正常に動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・本製品がパソコンに正しく接続、認識されているか確認してください。</li><li>・途中まで動作する場合、あるいは一部の機能は動作するが全体としてうまく動作しない場合、ユーティリティの設定が不適切な可能性があります。ユーティリティの設定内容を確認してください。</li><li>・パソコンを再起動してください。</li><li>・パソコンの電池を確認してください。電池の残量が少なくなると動作が不安定になることがあります。電池の残量が少ない場合は、パソコンに付属の AC アダプタを使用するか、新しい電池に交換してください。</li></ul>
通信・発信できない、発信後すぐに切断される	<ul style="list-style-type: none"><li>・本製品に SIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。</li><li>・PIN コードの設定を確認してください。PIN コードが有効、または PIN ロック状態、完全ロック状態になっている可能性があります。</li><li>・プロファイル情報の入力間違い、前後の余分なスペース(空白)などが入力されていないか、ご確認ください。</li><li>・基地局の回線が混雑している場合は、利用できないことがあります。しばらくしてから再度発信してください。</li><li>・電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。表示ランプが赤点滅している場合は、電波の届きにくい場所にいる可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。</li></ul>
通信速度が遅く感じる、通信が安定しない	<ul style="list-style-type: none"><li>・電波の状態や回線の状態が悪いことがあります。表示ランプが赤点滅している場合は、電波の届きにくい場所にいる可能性がありますので、安定して点灯する場所に移動してください。</li></ul>

## 9. 付録

### 9.1 主な仕様

製品名	WM31
外形寸法	89.8mm(D) × 26.8mm(W) × 11mm(H)
質量	約 22.5g
インタフェース	USB 2.0
消費電力	HSDPA / HSUPA 通信中 : 約 2.5W W-CDMA 通信中 : 約 2.2W 待受け消費電流 : 約 0.25W
環境条件	動作温度範囲 : -20~70°C 動作湿度範囲 : 10~85%
対応周波数	W-CDMA : 800MHz / 2100MHz
通信方式	W-CDMA / HSDPA(DL 14.4Mbps) / HSUPA(UL 5.76Mbps) ご利用の通信方式や地域によって、最大通信速度が異なります。 また、ベストエフォート方式のため、回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、もしくは通信できなくなる場合があります。

### 9.2 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。

本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

### 9.3 知的財産権

※Windows、Windows 7、Windows Vista、Windows XP、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Macintosh、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の登録商標です。

※その他、記載の会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。